

こくご りょく きほん てきかい わ りょく

国語力・基本的会話力 ワークブック



No.

し めい
氏名

ほう む しょうきょう せいきょく
法務省矯正局

間違えやすい漢字・言葉①



職業に就くと、いろいろなマニュアルや契約書を読むことがあります。
言葉の意味を確認しながら読みましょう。

 次の「労働条件」に関する文章を声に出して読みましょう。

- 一、^① 始業は午前九時、終業は午後五時です。
- 二、^② 休憩時間は六十分です。
休憩時間は仕事に支障のない^③ 範囲で自由に使用できます。
- 三、週に一日の休日がもらえます。
その他に土曜日・祝日・前後を祝日にはさまれた平日に休めます。
- 四、^④ 有給休暇は六か月継続して働いた場合に十日間もらえます。



かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



右の文章の——のカタカナを漢字で書きましょう。

1	
2	
3	
4	
5	

一、**①** 施せつ全体の整理整頓を確認し、**①** フヨウな物は手順に従って廃棄する。

二、調理場の床や壁は、中性せん剤とデッキブラシで**②** センジヨウする。水を切った後に翌朝まで次亜塩素酸で**③** ショウドクし、換気扇を回して乾燥させる。

三、調理場の**④** ショウメイキグは、蛍光灯を外し、拭き掃除を行う。

四、調理場に**⑤** セツチされた換気扇は、フィルターを中性せん剤でせんじょうする。



次の「清掃マニュアル」の文章を声に出して読みましょう。

右(1ページ)の文章の——の漢字の読み方を書きましょう。

1 ()

2 ()

3 ()

4 ()

()



右(1ページ)の文章の——の漢字の読み方を書きましょう。

 次の——の漢字の読み方を（ ）に書きましよう。

① メ切に間に合わせる。

② 給料を提示する。

③ 進み具合を報告する。

④ 商品の整理を行う。

⑤ 子会社に行く。

⑥ 経費を精算する。

⑦ すぐに対応する。

⑧ 書類をはりつける。

⑨ ファイルを添付する。

⑩ 代わりの物を用意する。

⑪ 売上高を計算する。

⑫ 営業部に異動する。

① ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



次の ——— の漢字の読み方を () に書きましょう。
 ——— の漢字の意味は左どなりにあります。参考にしましょう。

① 履歴書 を提出する。
 || その人の経歴を年月の順に並べた書類。

② 従業員を解雇する。
 || やとっている人をやめさせること。

③ 内定 をもらう。
 || 正式ではないが、内々に決まること。

④ 大工に転職する。
 || ほかの職業に変えること。

⑤ 有給休暇 をとる。
 || 出勤と同じように賃金が支払われる休み。

⑥ 請求書 を送る。
 || 金銭の支払いや返却などを求めて相手に通知する書類。

⑦ 領収書 を書く。
 || 金銭などを受け取ったことを証明する書類。

間違えやすい漢字・言葉②



漢字には、意味を表す「訓読み」と発音を表す「音読み」があります。また一般に間違っって定着したものや、送りがなの違いで読み方が変わるものもあります。



次の文章を声に出して読みましょう。

シベリア抑留で命を落とした多くの日本人を慰霊する碑が昨年十月、ロシア・ノリリスクに①建立された。募金活動をして極北の地に碑を建てたのは、現地で父親を亡くしたAさん。

②「吹雪の向こうから聞こえてくる抑留者たちの声に耳を傾け、その思いを決して忘れず。そう③刻んだ銘文に、二度と悲劇は④繰り返さないとの思いを込めた。」

(出典 『読売新聞』二〇一六年一月十日朝刊・一部改編)

右の文章の——の漢字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

- ① ()
 - ② ()
 - ③ ()
 - ④ ()
- んだ ()
- り ()

次の文章を声に出して読みましょう。

日本の人口減少問題は、かなり以前から言われていた。しかし一般市民のレベルでは現実味のない話題であったため、あまり問題視されていなかった。人口が減ると、労働力が減り税収が減る。税収が減ると国家予算が減り、教育・福祉・公共サービスにまわす予算が減少する。中でもインフラの整備が立ち行かなくなり、市民生活が①脅かされる。

昭和四十九年の第二次ベビーブームを境に、その後の②出生率は低下をはじめ、平成元年からはなだらかに低下の③一途をたどる。原因はさまざまに推測されるが、急速に複雑化する社会の変化に対応できず、未来に明るい展望を見出せない若年層の増加は否定できない。だからといって、④早急に出生率を上げる対策などない。

右の文章の——の漢字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

- ① () かされる ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()



次の——の漢字の正しい読み方のほうを○で囲みましょう。

- ① 月極の駐車を借りる。
「げつきよく・つきぎめ」
- ② 企業が破綻する。
「はじょう・はたん」
- ③ 大臣の訃報を知らせる。
「けいほう・ふほう」
- ④ 笑顔であいさつする。
「えがお・わらいがお」
- ⑤ 首相が外国を訪問する。
「しゅそう・しゅしょう」
- ⑥ 新規に組合が発足する。
「ほっそく・はっそく」
- ⑦ 既読のメールを削除する。
「きどく・がいどく」
- ⑧ 神社の境内に入る。
「きょうない・けいだい」
- ⑨ 凡例のとおりに回答する。
「はんれい・ぼんれい」
- ⑩ 雰囲気のよいお店に行く。
「ふいんき・ふんいき」
- ⑪ 毎年、若干名採用する。
「わかせん・じゃっかん」
- ⑫ 一世一代の大仕事を行う。
「いっせい・いっせ」
- ⑬ 土砂くずれが起こる。
「どしゃ・つちすな」
- ⑭ デザインを工夫する。
「くふう・こうふ」
- ⑮ 作業が一段落つく。
「いちだんらく・ひとだんらく」
- ⑯ 増税問題は他人事ではない。
「たじんじ・ひとごと」

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



次の意味を表す単語を、下の「」の「」から選び、「」に書きましょう。

① 利益を得ることを目的として事業を行うこと。

⋮

② 新しく職業につくこと。

⋮

③ 会社などが働いてくれる人を募集すること。

⋮

④ 財産を使いつくして会社がつぶれること。

⋮

⑤ あることをするのに必要な費用。

⋮

⑥ 職務上必要な知識や技能を高めるために、一定期間、特別に学習や実習をすること。

⋮

⑦ 適当であると思う人や方法などを取り上げて用いること。

⋮

⑧ 賃金を払って、人をやとつこと。

⋮

タ ソ セ ス シ サ コ ケ ク キ カ オ エ ウ イ ア

経 就 労 退 求 定 賃 営 事 研 年 雇 業 派 倒 採
 費 職 働 職 人 年 金 業 務 修 収 用 績 遣 産 用

思いやりのある言い方①

口は災いのもと、うっかり言った一言で人間関係が悪くなることもあります。人を傷つけないために「言い換え」をして言葉を使いましょう。

 人を傷つけない言葉に言い換えて書きましょう。

① 地味な ↓ 「 」

② 仕事が遅い ↓ 「 」

③ 時間を守らない人 ↓ 「 」

④ 飽きっぽい ↓ 「 」

⑤ 意見のない人 ↓ 「 」

⑥ マザコン ↓ 「 」

⑦ 流行遅れ ↓ 「 」

⑧ 古くさい ↓ 「 」

⑨ けち ↓ 「 」

⑩ 文句が多い人 ↓ 「 」

⑪ 騒々しい ↓ 「 」

⑫ ありきたりの ↓ 「 」



ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

16 おたく

↓
┌

┌

15 小心者しょうしんもの

↓
┌

┌

14 しつこい

↓
┌

┌

13 理屈りくつっぽい

↓
┌

┌

12 いい加減かげんな人ひと

↓
┌

┌

11 のろま

↓
┌

┌

10 短気たんき

↓
┌

┌

9 うるさい

↓
┌

┌

8 悪趣味あくしゆみ

↓
┌

┌

7 無愛想ぶあいそう

↓
┌

┌

32 味気あじけない

↓
┌

┌

31 老ふけている

↓
┌

┌

30 うそつき

↓
┌

┌

29 わがまま

↓
┌

┌

28 八方美人はっぽうびじん

↓
┌

┌

27 毒舌どくぜつ

↓
┌

┌

26 ずるがしこい

↓
┌

┌

25 つまらない

↓
┌

┌

24 まずい

↓
┌

┌

23 安物やすもの

↓
┌

┌



思いやりのある言い方のほうの（ ）に○をつけましょう。

①
 () 彼は頭がかたい人なので、なかなか人にゆずらない。
 () 彼は芯が強い人なので、なかなか人にゆずらない。

②
 () 思いついたら、すぐに実行してしまう。
 () 思いついたら、物の後先を考えずにやってしまう。

③
 () 彼は次々と気持ちが変わって、集中力がないほうです。
 () 彼は目に入るさまざまなことに、興味を示すほうです。

④
 () 彼の率直な物言いは、周囲から注目される。
 () 彼はいつも一言多くて、周囲から注目される。

⑤
 () 彼は他人との協調性がある。
 () 彼は人の意見に左右される。

⑥
 () あの人は上司から言われたことしかやらない。
 () あの人は上司に頼まれるとどんなことでも嫌がらずにやる。

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ
1回目

がつ
月 日

かいめ
2回目

がつ
月 日

 次の文章を思いやりのある言い方の文章に書き換えましょう。

① 彼女は自分のことばかり主張する。

② 友達の知ったかぶりにはうんざりする。

③ 私の上司は、神経質で細かいところまでうるさい。

④ あの子はまったく人の話を聞かない。

思いやりのある言い方②

口は災いのもと、うっかり言った一言で人間関係が悪くなることもあります。同じ意味でも思いやりのある言葉を選んで使うようにしましょう。

 思いやりのある言葉に言い換える場合に、よい言葉を選んで、○で囲みましょう。



- ① 地味だ ↓ 「ぱっとしない ・ おもしろくない ・ シンプルだ」
- ② 派手だ ↓ 「華やかだ ・ けばけばしい ・ 行き過ぎだ」
- ③ 変だ ↓ 「異常だ ・ ユニークだ ・ 奇妙だ」
- ④ ふてぶてしい ↓ 「堂々としている ・ あつかましい ・ 太っている」
- ⑤ うるさい ↓ 「やかましい ・ 耳障りだ ・ にぎやかだ」
- ⑥ だらしない ↓ 「でたらめだ ・ いいかげんだ ・ おおらかだ」

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

- | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|--|---|--|--|
| <p>⑬ けち
↓
「 せこい ・ まめだ ・ しみったれ
」</p> | <p>⑭ 偏屈
↓
「 変人 ・ がんこ ・ こだわりの強い
」</p> | <p>⑮ 知ったかぶり
↓
「 偉そう ・ 物知り ・ ひけらかし
」</p> | <p>⑯ のろま
↓
「 ゆっくり ・ とろい ・ 面倒くさい
」</p> | <p>⑰ 無愛想
↓
「 無口 ・ 愛想なし ・ つまらない
」</p> | <p>⑱ マザコン
↓
「 乳ばなれ ・ 劣等感 ・ 母親思い
」</p> | <p>⑲ 裏日本
↓
「 日本海側 ・ 外側の日本 ・ 陰日本側
」</p> | <p>⑳ でおおざっぱだ
↓
「 寛容だ ・ 適当だ ・ いいかげんだ
」</p> | <p>㉑ でしゃばり
↓
「 おせっかい ・ 世話好き ・ 目立ちたがり
」</p> | <p>㉒ もたもたする
↓
「 にぶい ・ のろい ・ ゆっくりした
」</p> |
|---|--|---|---|--|---|--|---|--|--|

 次のイラストや場面を見て、何とさえよいかを考えて書きましょう。

① 「かわいいだろう」と写真を見せる上司に対して、感想を述べる場合。



② 電車の中で、女性に席を譲るために声をかける場合。



相手の立場で考えてみましょう。
自分が言われて嫌な言葉は避け、言われたらうれしい言葉を使ってみましょう。



ワークに取り組んだ日を書きましょう。

1回目

がっ 月 日

2回目

がっ 月 日

 次の場面では、どのように言つとよいでしょうか。思いやりのある言い方で書きましょう。

① 物を贈られたが、受け取りたくない場合。

② 体調不良で相手（上司）の誘いを断る場合。

③ あまり興味のないことに上司から感想を求められた場合。

周囲の様子や反応を見て、受け答えしましょう。
無理に相手に合わせようとせず、自分の素直な気持ちをへりくだった態度で伝えることが大切です。



心に留めておきたい言葉

『論語』とは、今から約二千五百年も前の中国で、孔子とその弟子たちの対話をまとめたもので、現在でも読み続けられている大ベストセラー本です。人としての生き方や人との最良の付き合い方が書かれており、人それぞれの人生のいわゆる「ガイドブック」のようなものとして、昔から広く人々の生きるうえでのお手本となっていました。日本でも、あの有名な聖徳太子や、徳川家康、他たくさんの偉人たちが、この『論語』を人としてどのように生きるべきか、お手本としていたようです。



 次の『論語』の文章を声に出して読み、書き写しましょう。

● 子曰く、学びて時にこれを習う、また喜ばしからずや。

(説)

解説

先生（孔子）がおっしゃった。学んだことを、しかるべき時におさらいすると身につく。これこそ、人生の喜びではないか。

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



あなたには心に留めておきたい言葉はありますか？
苦しい時に思い出す言葉や、好きな言葉でもかまいません。書いてみましょう。

かいせつ
解説

人が自分を認めてくれないとも、腹を立てたりしない。それでこそ、紳士ではないか。

● 人知らずして慍みず、また君子ならずや。

かいせつ
解説

遠くから志を同じくする友人が訪ねてくれる。これこそ愉快なことではないか。

● 朋遠方より来る有り、また楽しからずや。

 次の文章を声に出して読みましょう。

枕草子

清少納言

春は、あけぼの。やうやう白くなりゆく、
山ぎは少し明りて、紫だちたる雲のほそく
たなびきたる。

夏は、夜。月の頃はさらなり、闇もなほ、
螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ
二つなど、ほのかにうち光りて行くも、を
かし。雨など降るも、をかし。

【清少納言】

九六六年頃～一〇二五年頃。
平安時代を代表する女流作家・
歌人。『枕草子』は、清少納言
が一条天皇の中宮定子に仕えた
頃の回想や見聞、自然や人生な
どについて書かれ、約三百の話
が収録されている。

【現代語訳】

春は、あけぼの（明け方がよ
い）。だんだん白くなっていく山
際（山に接している空）が少し
明るくなって、紫がかつた雲が
細くたなびいている（のがよい）。
夏は、夜（がよい）。月が明
るい頃は言うまでもなく、闇夜
でも、螢が飛び交っている（の
がよい）。また、ただ一匹二匹
などと、ほのかに光って飛んで
行くのも、趣がある。雨などが

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

秋は、夕暮れ。夕日のさして、山の端いと
 近うなりたるに、鳥の寝どころへ行くとして、
 三つ四つ、二つ三つなど、飛び急ぐさへあはれ
 なり。まいて、雁などのつらねたるが、いと
 小さく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、
 風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。

冬は、つとめて。雪の降りたるは言ふべき
 にもあらず。霜のいと白きも、またさらでも、
 いと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡
 るも、いとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆ
 るびもていけば、火桶の火も、白き灰がちに
 なりて、わろし。

(出典 書籍デジタル化委員会電子図書館)

 あなたの好きな季節を○で囲みましょう。

〔春・夏・秋・冬〕

降るのも、趣がある。

秋は、夕暮れ(がよい)。夕

日がさして山の端にとても近

くなっているところに、からす

が寝床へ行こうして、三羽四

羽、二羽三羽などと、飛び急ぐ

様子さえしみじみとしたもの

を感じさせる。まして、雁など

が連なつて飛んでいるのが、と

ても小さく見えるのは、大変趣

がある。日が暮れてから聞こえ

てくる風の音や虫の声なども、

また言うまでもない(ほどすば

らしい)。

冬は、早朝(がよい)。雪が

降っている時は言うまでもな

く。霜がとても白いのも、また

そうでなくても、大変寒い朝に、

火などを急いで起こして、炭を

持つて運び回るのも、大変似つ

かわしい。昼になって、寒さが

ゆるんでくる頃は、火桶の火も

白い灰ばかりになって、よくない。

読み物①



 次の文章を声に出して読み、24ページの問題に答えましょう。

坊っちゃん

夏目漱石

母が死んでからは、おやじと兄と三人で暮っていた。おやじは何にもせぬ男で、人の顔さえ見れば貴様は駄目だ駄目だと口癖のように云っていた。何が駄目なんだか今に分からない。妙なおやじがあったもんだ。兄は実業家になるとか云ってしきりに英語を勉強していた。元来女のような性分で、ずるいから、仲がよくなかった。十日に一

【夏目漱石】

夏目漱石（せんぼく そうせき）
慶応三（一八六七）年〜大正五（一九一六）年。明治時代を代表する文豪。文学界では、高踏派・余裕派に分類される。
本名・夏目金之助。江戸の牛込馬場下横町（現・東京都新宿区喜久井町）出身。東京帝国大学英文科卒業後、愛媛県や熊本県で英語教師をする。イギリスへ留学。帰国後、東京帝国大学講師として英文学を講じながら、『吾輩は猫である』を発表。その後『坊っちゃん』を執筆。朝日新聞社に入社し、多くの作品を掲載。晩年は胃潰瘍に悩まされ、『明暗』が絶筆となる。四十九歳で亡くなった。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

遍ぐらしいの割で喧嘩をしていた。ある時将棋をさしたら卑怯な待駒をして、人が困ると嬉しそうに冷やかした。あんまり腹が立ったから、手に在った飛車を眉間へ擲きつけてやった。眉間が割れて少々血が出た。兄がおやじに言付けた。おやじがおれを勘当すると言い出した。

その時はもう仕方がないと観念して先方の云う通り勘当されるつもりでいたら、十年来召し使っている清という下女が、泣きながらおやじに詫まって、ようやくおやじの怒りが解けた。それにもかかわらずあまりおやじを怖いとは思わなかった。かえってこの清と云う下女に気の毒であった。この下女はもと由緒のあるものだったそうだ

「坊っちゃん」

主人公は東京の物理学校（東京理科大学）を卒業したばかりの江戸っ子気質。血気盛んで無鉄砲な数学の新任教師。
 夏目漱石の愛媛県尋常中学校と熊本第五高等学校へ赴任するまでの体験を下敷きに書かれたといわれる。特に人物描写と心情描写にすぐれており、義理と人情に厚い作品となっている。
 明治三十九（一九〇六）年発表。

【注】

「今にわからない」「今だにわからない」と同じ。
 「勘当」親子の縁を切つて、子を追い出すこと。
 「観念して」あきらめて状況を受け入れること。

が、瓦解のときに零落して、つい奉公までするようになったのだと聞いている。だから婆さんである。この婆さんがどういう因縁か、おれを非常に可愛がってくれた。不思議なものである。母も死ぬ三日前に愛想をつかした——おやじも年中持て余している——町内では乱暴者の悪太郎と爪弾きをする——このおれを無暗に珍重してくれたい。おれは到底人に好かれる性でないときらめていたから、他人から木の端のように取り扱われるのは何とも思わない、かえってこの清のようにちやほやしてくれるのを不審に考えた。清は時々台所で人の居ない時に「あなたは真っ直でよいご気性だ」と賞める事が時々あった。

(出典 青空文庫)

【注】

〔下女〕 調理や掃除など下働きする女性。お手伝いさん。

〔由緒〕 長い歴史を経て作りあげられた格式(身分・家柄)。

〔瓦解〕 ある組織や社会が崩壊すること。ここでは江戸時代の幕藩体制から大政奉還を経て、明治の

新時代への移行を指す。

〔零落〕 落ちぶれること。

〔奉公〕 他人の家に雇われて、家事や家業に従事すること。

〔爪弾き〕 邪魔者扱いをする。

〔珍重〕 大切に扱うこと。

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



21〜23ページを読んで、感想を書きましょう。



本文からうかがえる主人公(坊っちゃん)の性格として合うものを、次から三つ選び、○で囲みましょう。

負けず嫌い ・ 素直 ・ ひねくれ者 ・ おだやか

うそつき ・ ずるい ・ おとなしい ・ 勝気



21〜23ページを読んで、一番印象に残った文章を書きましょう。

読み物②



 次の文章を声に出して読み、28ページの問題に答えましょう。

オツベルと象

宮沢賢治

ある晩象は象小屋で、三把の藁をたべながら、十日の月を仰ぎ見て、

「苦しいです。サンタマリア。」と云った
ということだ。

こいつを聞いたオツベルは、ことごと象
につらくした。

ある晩、象は象小屋で、ふらふら倒れて
地べたに座り、藁もたべずに、十一日の月

【宮沢賢治】

明治二十九（一八九六）年、昭和
八（一九三三）年。

本名同じ。岩手県稗貫郡里川口村

（現・花巻市）に生まれる。父は宮

沢政次郎、母イチ。郷土岩手に基

づいた創作を行い、作品中にしば

しば登場する架空の理想郷を、

「イーハトーブ」と名づけている。

宮沢賢治が生きている間に刊行

されたのは詩集『春と修羅』と童

話集『注文の多い料理店』の二つ

の作品集だけで、無名であった。

死後に多くの作品が紹介され、有

名になった作家である。また、独

特の擬声語・擬音語を多用し、韻

文的リズム感が特徴的である。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

を見て、

「もう、さよようなら、サンタマリア。」と
 斯う言った。

「おや、何だって？ さよならだ？」月が
 俄かに象に訊く。

「ええ、さよならです。サンタマリア。」

「何だい、なりばかり大きくて、からっき
 し意気地のないやつだなあ。仲間へ手紙を
 書いたらしいや。」月がわらって斯う云った。

「お筆も紙もありませんよう。」象は細う
 いきれいな声で、しくしくしく泣き出
 した。

「そら、これでしよう。」すぐ眼の前で、
 可愛い子どもの声でした。象が頭を上げて
 見ると、赤い着物の童子が立って、硯と紙

【オツベルと象】

短編童話。作者の生前に発表され
 た数少ない童話の一つ。「ある牛
 飼い」が物語る形式になっている。
 地主のオツベルのもとに大きな
 白い象がやってくる。オツベルは
 象をだまして自分のところで働
 かせる。そうとは知らず、労働を
 楽しんでいた白い象だが、徐々に
 食べ物が減らされて弱っていく。
 白い象は月の助言で仲間たちに
 手紙を書き、それを読んだ仲間の
 象たちはオツベルの邸へと押し
 寄せていく。
 当初編集の間違いで「オツベル」
 と表記されてしまった。

【注】

〔把〕 わらなどの束を数える単位。
 〔ことごと〕 何かにつけて。

を捧^{ささ}げていた。象^{ぞう}は早速^{さつそく}手紙^{てがみ}を書^かいた。

「ぼくはずいぶん眼^めにあつてゐる。みんな
で出て来^きて助^{たす}けてくれ。」

童子^{どうじ}はすぐに手紙^{てがみ}をもつて、林^{はやし}の方^{ほう}へあ
るいて行^いった。

(中略^{ちゆうりやく})

象^{ぞう}は一せいに立^たちあがり、まっ黒^{くろ}になつ
て吠^ほえだした。

「オツベルをやっつけよう」議^ぎ長^{ちやう}の象^{ぞう}が高^{たか}
く叫^{さけ}ぶと、

「おう、でかけよう。グララアガア、グラ
ラアガア。」みんながいちどに呼^こ応^{おう}する。

さあ、もうみんな、嵐^{あらし}のように林^{はやし}の中^{なか}を
なきぬけて、グララアガア、グララアガア、
野原^{のほら}の方^{ほう}へとんで行^いく。

(出典^{しゅてん} 青空^{あおぞら}文庫^{ぶんこ})

【注^{ちゆう}】

「ずいぶん眼^めにあつてゐる」

とてもひどい目^めに遭^あつてゐる。

「グララアガア」ここでは象^{ぞう}の吠^ほ

え声^{こえ}を擬音^{ぎおん}化^かしたもの。

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ
1回目

がつ
 月 日

かいめ
2回目

がつ
 月 日



25～27ページを読んで、感想を書きましょう。

- () 25～27ページを読んで、この作品の特徴に合うものを次からすべて選び、() に○をつけましょう。
- () 象や月が人間の言葉で話しているように書いている。
- () 現代では使われないような表現や言葉が使われている。
- () オツベルが語っているように書いている。



25～27ページを読んで、一番印象に残った文章を書きましょう。

読み物③



 次の文章を声に出して読み、32ページの問題に答えましょう。

蜘蛛の糸

芥川龍之介

御釈迦様が極楽から地獄を見ると、犍陀多という男が地獄の底で苦しんでいた。犍陀多は殺人や放火、泥棒などを行った罪人だが、蜘蛛を助けたことがあった。御釈迦様がその報いに地獄から救い出してやるうと蜘蛛の糸をたらすと、犍陀多は糸をのぼり始めた。

すると、一生懸命にのぼった甲斐があつて、さっきまで自分がいた血の池は、今ではもう暗の底にいつの間にかかくれて居ります。それからあのぼんやり光っている恐しい針の山も、足の下になつてしまいました。この分でのぼって行けば、地獄からぬけ出すのも、存外わけがないかも知れません。犍陀多は両手を蜘蛛の糸にからみながら、ここへ来てか

【芥川龍之介】

明治二十五（一八九二）年、昭和二（一九二七）年。大正時代を代表する小説家。新現実主義。

本名同じ。東京市京橋区入船町（現・中央区明石町）に生まれる。父は新原敏三、母フク。母が精神に異常をきたしたため、母の実家の芥川家に預けられ、伯母に養育される。十一歳で母が亡くなり、正式に芥川姓を名乗る。幼い頃から成績優秀で秀才と評判だった。東京帝国大学英文科へ進学。大学在学中に「羅生門」を発表し、夏目漱石の門下に入る。大正五（一九一六）年に発表した「鼻」が漱石に絶賛される。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

ら何年にも出した事のない声で、「しめた。しめた。」と笑いました。ところがふと気がつきますと、蜘蛛の糸の下の方には、数限もない罪人たちが、自分ののぼった後をつけて、まるで蟻の行列のように、やはり上へ上へ一心によじのぼって来るではございませんか。犍陀多はこれを見ると、驚いたのと恐ろしいのとで、しばらくはただ、莫迦のように大きな口を開いたまま、眼ばかり動かして居りました。自分一人でさえ断れそうなく、この細い蜘蛛の糸が、どうしてあれだけの人数の重みに堪える事が出来ましょう。

(中略)

そこで犍陀多は大きな声を出して、「こら、罪人ども。この蜘蛛の糸は己のものだぞ。お前たちは一体誰に尋いて、のぼって来た。下りろ。下りろ。」と喚きました。その途端でございます。今まで何ともな

【蜘蛛の糸】

大正七（一九一八）年、鈴木三重吉によって創刊された児童向文芸誌『赤い鳥』創刊号内にて発表。慈悲（あわれみ・情け）の心やエゴイズム（自分の利益だけを重んじる考え方）がテーマになっている。

「蜘蛛の糸」は、アメリカの作家ポールケラーズの『カルマ』の中の挿話「The Spider-web」（蜘蛛の糸）と訳された）を原典として鈴木大拙が日本語に翻訳した『因果の小車』という作品を元にしているといわれている。

【注】

「御釈迦様」仏教を開いて、仏法を説いたインドの人。

「極楽」安楽で幸福に満ちている世界。天国のような場所。

かった蜘蛛の糸が、急に犍陀多のぶら下っている所から、ぶつりと音を立てて断れました。ですから犍陀多もたまりません。あっと云う間もなく風を切つて、独楽のようにくるくるまわりながら、見る見る中に暗の底へ、まっさかさまに落ちてしまいました。

(中略)

御釈迦様は極楽の蓮池のふちに立って、この一部始終をじっと見ていらつしやいました。が、やがて犍陀多が血の池の底へ石のように沈んでしまいますと、悲しそうな御顔をなさりながら、またぶらぶら御歩きになり始めました。自分ばかり地獄からぬけ出そうとする、犍陀多の無慈悲な心が、そうしてその心相当な罰をうけて、元の地獄へ落ちてしまったのが、御釈迦様の御目から見ると、浅間しく思召されたのでございましょう。

(出典 青空文庫)

【注】

〔報い〕お返し。

〔血の池〕地獄にあるという血だらけの池。

〔針の山〕地獄にあるという針がうえてある山。

〔存外〕思つたよりも。

〔莫迦〕「馬鹿」と同じ。

〔人数〕「人数」と同じ。

〔喚く〕大声でさげぶ。

〔蓮池〕ハスの花が咲く池。仏教

でいう極楽には、蓮池があるときでいていた。ハスの花は、仏の智慧や慈悲の象徴になっている。

〔一部始終〕始めから終わりまで。

〔無慈悲〕思いやりが無い。

〔心相当〕心に似つかわしい。

〔罰〕「罰」と同じ。

〔浅間しい〕いやしい。

〔思召される〕思われた。

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



29～31ページを読んで、感想を書きましょう。

強気 ・ さみしがりや ・ ずるい ・ おとなしい
 おだやか ・ わがまま ・ 泣き虫 ・ のんびり



29～31ページを読んで、健陀多の性格として合うものを、次から三つ選び、○で囲みましょう。



29～31ページを読んで、一番印象に残った文章を書きましょう。

敬語① ～尊敬語～

敬語は世界に類を見ない、日本語固有の表現です。敬語の使い方によって、相手と自分の立場を明確にし、それにより使用する人の「知性」と心の「奥ゆかしさ」を伝えます。



敬語には、尊敬語・謙讓語・ていねい語があります。尊敬語は、相手の動作に敬意を表して使います。尊敬語には次のような種類があります。

① 尊敬の意味を持っている。

(例) おっしゃる・いらっしゃる・召しあがる など

② 「おくになる」「ごくなさる」の形。

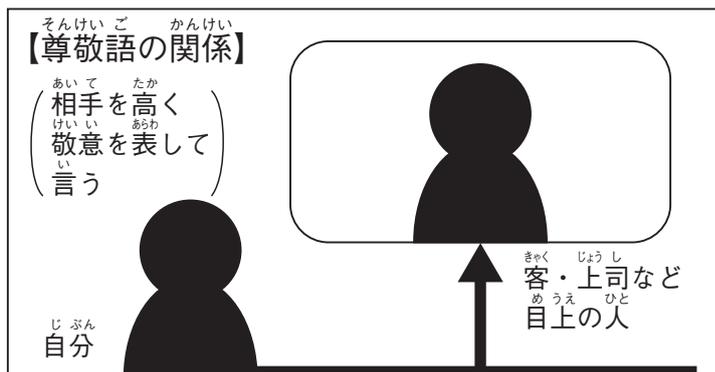
(例) お話しになる・お越しになる・お食べになる・ご休憩なさる・ご来店なさる など

③ 尊敬の助動詞「れる」「られる」をつける。

(例) 言われる・来られる・食べられる など

※③は、「ら抜き言葉」との混同に注意しましょう。「ら抜き言葉」は、「れる・られる」を「〜できる(可能)」の意味で使用する場合に起きてしまう言い方です。

(例) 来ることができると来られる(×来れる)・見ることができると見られる(×見れる)



ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

6
 () ()
 () ()
 社長が書類を見る。
 社長が書類を**ご覧**になる。

5
 () ()
 () ()
 社長は車で行く。
 社長は車**で**いらっしゃる。

4
 () ()
 () ()
 お客様が来る。
 お客様が**いら**っしゃる。

3
 () ()
 () ()
 奥様は着物をお召しになる。
 奥様は着物**を**お召しになる。

2
 () ()
 () ()
 国語の先生が、言う。
 国語の先生**が**、おっしゃる。

1
 () ()
 () ()
 社長がゴルフをする。
 社長がゴルフ**を**なさる。

 尊敬語の使い方として、正しいほうの () に○をつけましょう。



尊敬語の使い方として、正しいほうの（ ）に○をつけましょう。

① () ()
 () ()
 こちらの用紙に書かれてください。

② () ()
 () ()
 書類を、社長から順に拝見した。
 書類を、社長から順にご覧になった。

③ () ()
 () ()
 社長も昼食を召しあがる。
 社長も昼食をいただく。

④ () ()
 () ()
 受付でお尋ねください。
 受付でうかがってください。

⑤ () ()
 () ()
 社長は、何でもよくご存じだ。
 社長は、何でもよく存じている。

⑥ () ()
 () ()
 つまらない物ですが、どうぞお納めください。
 つまらない物ですが、どうぞいただきます。

④ ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

 次の場面で、――の言葉が正しい尊敬語になるように、() に書き換えましょう。

① **場面** 新しい資料を見てもらう時。

セリフ 「皆様のお手元に配布いたしました資料を見てください。」

↓ 「皆様のお手元に配布いたしました資料を () ください。」

② **場面** 上司から社長のことを聞かれた時。

セリフ 「ただいま社長は外出しています。」

↓ 「ただいま社長は外出して () 。」

③ **場面** 取引先の人からの伝言を社長に伝える時。

セリフ 「A社の佐藤様が『電話をください』と言ってました。」

↓ 「A社の佐藤様が『電話をください』と () ました。」

④ **場面** 社長に取引先の人 came 社したことを知らせる時。

セリフ 「A社の方が来ました。」

↓ 「A社の方が () ました。」

敬語②

謙讓語



「謙讓」とは、「謙遜」や「へりくだる」という意味です。
自分や自分側の人の動作に用います。相手に敬意を表すあまり、過剰にへりくだってしまつと、かえって失礼になることがあります。



謙讓語は、自分がへりくだることで、相手に敬意を表す表現方法です。
謙讓語には次のような種類があります。

① 謙讓の意味を持っている。

(例) 申す・うかがう・いただく・拝見する・参る・存ずる など

② 「おくする」「ごくりたす」の形。

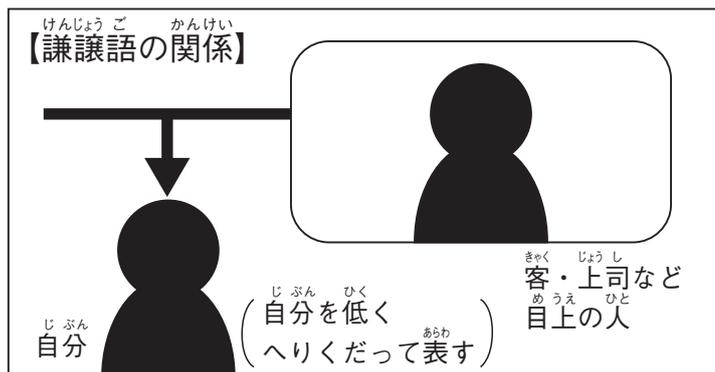
(例) お持ちする・お聞きする・お見せする・ご案内いたします など

③ 家族や身内を指す言葉。

(例) 父・母・祖父・祖母・夫・妻 など

※自分の家族や身内の人を他人に話す時、「お父さん」や「お母さん」とは使わず、「父」「母」と言うようにします。

また、人間以外の動物や無生物には、基本的に敬語は使用しません。



ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---



謙譲語の使い方として、正しいほうの（ ）に○をつけましょう。

①
 () 私わたくしが御社おんしゃへ行いきます。
 () 私わたくしが御社おんしゃへうかがいます。

②
 () 出だされた物ものは残のこさずいただきます。
 () 出だされた物ものは残のこさず食たべます。

③
 () パンフレットを見みてもよろしいですか。
 () パンフレットを拝見はいけんしてもよろしいですか。

④
 () 私わたくしが所見しょけんを申もうしました。
 () 私わたくしが所見しょけんを言いいました。

⑤
 () 部長ぶちょうの奥様おくさまには初はじめて会あいます。
 () 部長ぶちょうの奥様おくさまには初はじめてお目めにかかります。

⑥
 () 会社かいしゃの見学会けんがくかいで記念品きねんひんをもらいました。
 () 会社かいしゃの見学会けんがくかいで記念品きねんひんをいただきました。



謙譲語の使い方として、正しいほうの（ ）に○をつけましょう。

①
資料を拝見しました。
資料をご覧になりました。

②
その件について、たずねました。
その件について、うかがいました。

③
私もその件はご存じでした。
私もその件は存じておりました。

④
傘をお借りします。
傘をお借りになります。

⑤
社長にお見せになりました。
社長にお見せいたしました。

⑥
確かに承知いたしました。
確かに承知いたしました。

謙譲語は尊敬語と混同しやすいです。
——の部分に注目して、それぞれの文章での謙譲語の使い方が正しいかどうかを考えましょう。



④ ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

 次の**場面**で、――の**言葉**が正しい**謙譲語**になるように、() () に**書き換え**ましょう。

① **場面** 社長の**伝言**を、**社外**の人に**伝える**時。

セリフ 「社長は二時に戻るとおっしゃってられました。」

↓ 「社長は二時に戻ると () ました。」

② **場面** **手みやげ**を持って**訪問**した時。

セリフ 「つまらない物ですがお受け取りになつてください。」

↓ 「つまらない物ですが () ください。」

③ **場面** お客様を**近く**の**駅**まで**連れて行く**時。

セリフ 「最寄りの駅までお連れして参ります。」

↓ 「最寄りの駅まで () ます。」

④ **場面** 社長に**車**で**迎えに行く**ことを**伝える**時。

セリフ 「当日は車でお迎えさせていただきます。」

↓ 「当日は車でお迎えに () ます。」

敬語③ すていねい語

一般に、物や状態をていねいに表現する場合は、「お」や「ご」を言葉の前につけることで表せますが、意外と例外が多いのがていねい語です。またこの「お」や「ご」を「接頭語」と呼びます。



ていねい語は、その言葉やある状態をていねいで上品な言い方にするために用いる表現方法です。ていねい語には次のような種類があります。

① 「です」「ます」「ございます」をつける。

(例) 健康です・努力します・おはようございます など

② 「お」「ご」「おん」をつける。

(例) お名前・お買い物・ご恩・ご活躍・御社・御礼 など

③ 「お」や「ご」をつけて言葉が変わったもの。

(例) おなか (腹)・ごはん (飯)・おてもと (箸)・おしぼり (手拭き) など

「美化語」
とも言う。

※美化語は、話し手が聞き手に上品な印象を与えるために使う語。

固有名詞や外来語には「お」や「ご」をつけてていねいな表現をうけません。

※「おバカ」「お利口」「お下劣」のように、わざと「お」をつけることで、相手に与える言葉の印象を変えるものがあるので注意しましょう。

④ ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

 次の言葉をていねいな言い方に換えて、() に書きましょう。

① **する** → 本日は欠席()。

② **だろう** → 明日は午後から晴れる()。

③ **ある** → 紳士服は四階に()。

④ **説明する** → 次は私が()。

⑤ **菓子** → 近くにおいしい() を売る店ができた。

⑥ **検討** → もう一度() ください。

⑦ **ない** → 私はまったくかまい()。

⑧ **足** → おけがをなされた() の調子はいかがですか。



ていねい語の使い方として、正しいほうの（ ）に○をつけましょう。

1

() この花瓶はフランス製です。
 () この花瓶はおフランス製です。

2

() 障害者のご世話をしています。
 () 障害者のお世話をしています。

3

() 二番ホームに電車が来ます。
 () 二番ホームに電車が来る。

4

() ごゆっくりお過ごしください。
 () おゆっくりお過ごしください。

5

() これをご注文なされたのは誰ですか。
 () これをご注文なされたのはどなたですか。

6

() お味はいかがですか。
 () お味はどうですか。

——の部分に注目して、それぞれの文章でのていねい語の使い方が正しいかどうかを考えましょう。

「お」や「ご」のつけ方は、基本的に和語では「お」、漢語では「お・ご」になります。

※和語…日本固有の言葉。
 訓読みの言葉。
 漢語…音読みの漢字でできた言葉。



④ ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

 次の場面で、――の言葉が正しいでない語になるように、（ ）（ ）に書き換えましょう。

① **場面** 取引先から電話がかかって来た時。

セリフ 「はい、A社でございます。いつもどうもです。」

↓ 「はい、A社でございます。いつも（ ）。」

② **場面** 上司に食べたいものを伝える時。

セリフ 「私は、肉をいただきたいと思っています。」

↓ 「私は、（ ）をいただきたいと思っています。」

③ **場面** 自分から仕事をしたくと伝える時。

セリフ 「ぜひ私にその仕事をやらしてほしい。」

↓ 「ぜひ私にその仕事を（ ）。」

④ **場面** お客様に注文内容を確認する時。

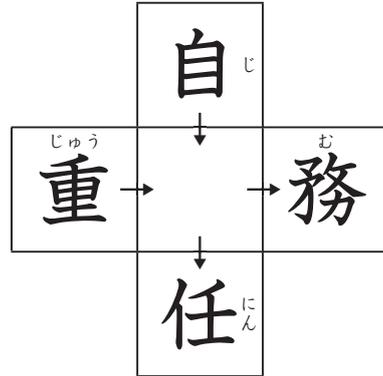
セリフ 「お客様のご注文の品は、以上でよろしかったでしょうか。」

↓ 「お客様のご注文の品は、以上で（ ）。」

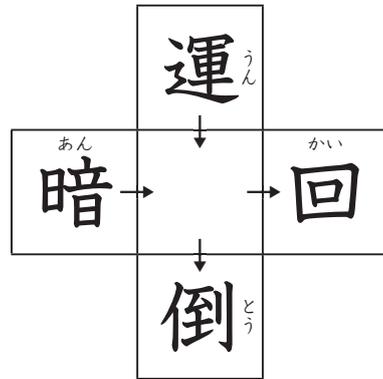


□に漢字を書いて、二字熟語を作りましょう。

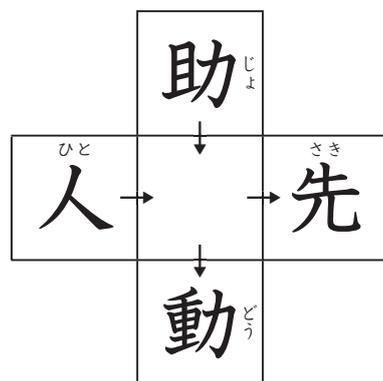
1



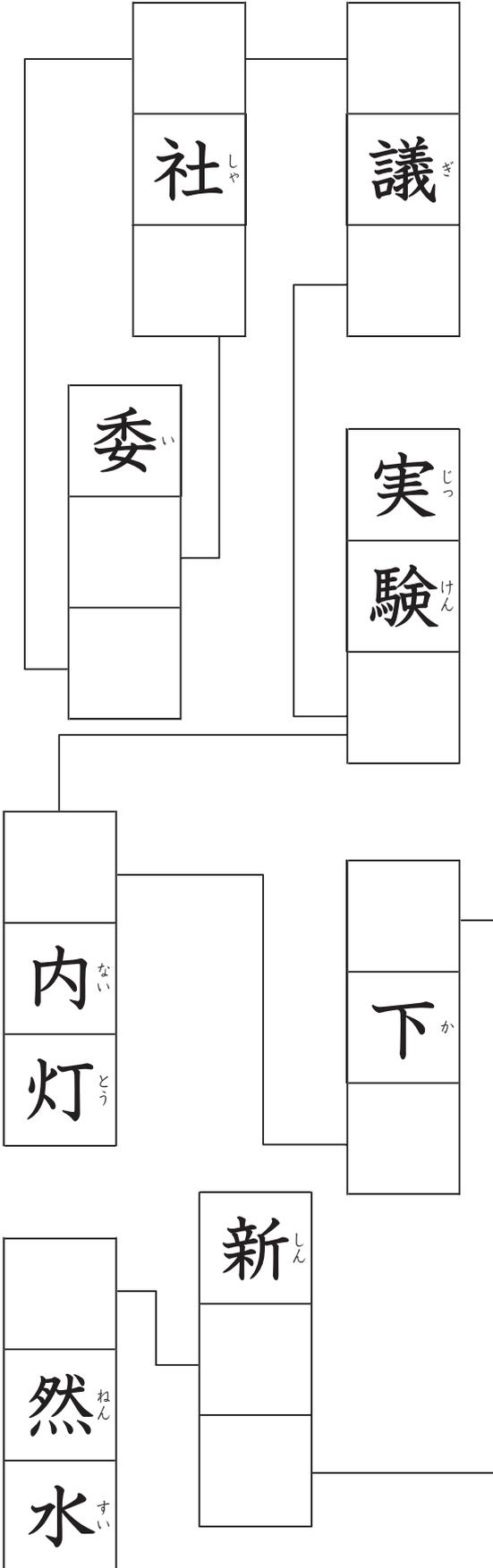
2



3



□に漢字を書いて、三字熟語を作りましょう。
線であつながっている□には同じ漢字が入ります。



ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

次の漢字に共通する部首を加えると、別の漢字になります。何を加えればよいのか、 から選び、 に書きましょう。

① (例) 井・玉・木・口 ↓ () …部首は「くにがまえ」。「困・国・困・回」の漢字になる。

② 化・早・右・央 ↓ ()

③ 刀・反・車・周 ↓ ()

木・口・宀・糸・門・之・月・冫・艹・禾・夂・土

次の部首のつく漢字を十種類書きましょう。

① 「シ」(さんずい)のつく漢字…

② 「言」(ごんべん)のつく漢字…

「慣用句」とは、二語以上の単語が結びついて、別の意味を表す言い回しです。慣用句は、動物や人の体の部分を使って表されることが多く、例えば「顔が広い」という慣用句は、顔の大きさが広いのではなく、「多くの人を知っていたり、人によく知られている」という意味になります。



 次の文章にあてはまる動物を選び、○で囲みましょう。

- ① 〔猫・犬・蛙〕の手も借りた**いほど忙しい**。
- ② 〔魚・虫・鳥〕の**知らせか、いやな予感がする**。
- ③ 〔蜂・寅・豚〕の子の**一万円を出す**。
- ④ 〔蛇・猿・雀〕も木から**落ちるので油断はできない**。
- ⑤ 友人とは〔馬・亀・牛〕が**合う**。
- ⑥ 社長の〔象・鶴・鷹〕の**一声で皆が動き出した**。
- ⑦ 負け〔兎・猫・犬〕の**遠吠えに聞こえる言い訳**。
- ⑧ 〔鯉・鯖・鰻〕登りに**業績が上がる**。
- ⑨ 〔海老・蟹・貝〕で**鯛を釣る**。
- ⑩ 〔狸・狐・狼〕に**つままれたような顔になる**。

ワークに取り組んだ日を書きましょう。

かいめ 1回目	がつ 月	日	かいめ 2回目	がつ 月	日
------------	---------	---	------------	---------	---

4

□	□	□
---	---	---

を冷やす。
 を下げる。
 を悩ます。

3

□	□	□
---	---	---

あげ
 □
 を取る。

二の
 □
 をふむ。

下を見る。

2

□	□	□
---	---	---

が焼ける。
 を広げる。
 がつかない。

1

□	□	□
---	---	---

が点になる。
 を細める。
 がさえる。

...

□

...

□

...

□

...

□

8

□	□	□
---	---	---

に覚えがある。
 が鳴る。
 を上げる。

7

□	□	□
---	---	---

を決める。
 を割って話す。
 に納める。

6

□	□	□
---	---	---

が痛む。
 がつかえる。
 に納める。

5

□	□	□
---	---	---

で笑う。
 にかける。
 が高い。

...

□

...

□

...

□

...

□

に共通してあてはまる漢字を□に書きましょう。体に関係がある漢字が入ります。

ほう む しょうきょう せいぎょく
法務省矯正局